

原水爆禁止 2019 年世界大会へのメッセージ

「原水爆禁止 2019 年世界大会」が開催されるにあたり、時津町民を代表してお喜び申し上げます。

皆様方が長年にわたり、核兵器のない平和で公正な世界の実現のためにご尽力されておりますことに、心から敬意を表し、感謝を申し上げます。

広島と長崎が被爆してから、74 回目の夏を迎えようとしています。

私たちは、世界唯一の被爆国の国民として、あの惨禍が絶対に繰り返されることのないよう、全世界に向けて核兵器の廃絶と恒久平和を訴え続けています。

しかしながら、未だに世界には核開発、核実験を行う国々があり、現存する核兵器は、1 万数千発にもおよびます。こうした核兵器の廃絶に向けて 2017 年 7 月に採択された核兵器禁止条約は、採択から 2 年が経過し、70 か国が署名し、23 か国が批准まで完了しています。

また、3 回目となる米朝首脳会談では、トランプ大統領が現職の米大統領として初めて北朝鮮に足を踏み入れ、朝鮮の非核化についても、交渉を再開することが合意されました。

このように世界が核兵器廃絶に向け前進する中、「原水爆禁止 2019 年世界大会」が開催されますことは、大変意義深いことであり、こうした取り組みが、一日も早く実を結び、核兵器のない世界が訪れますことを切に願っております。

最後に、本大会のご成功並びに、皆様の今後ますますのご健勝及びご活躍を心からお祈り申し上げ、メッセージといたします。

令和元年 7 月

長崎県 時津町長 吉田 義徳

